

名勝哲学堂公園整備検討委員会 令和6年度第1回 議事概要

学識者委員の 出席状況	亀山委員、内田委員、北田委員
議事の概要	【基本設計（造園）について】 ・「時空岡」の庭園としての景観は、古写真の状態に戻すのではなく、それを参考として、現状をどうしていくべきか判断する必要がある。建物が主題となっているように思える。 ・「四聖堂」周囲の四ツ目垣は、後の年代になって付加されたものであり、無いほうが良い。 ・「意識駅」とその他のベンチも含めて、考え方を整理する必要がある。 ・「三学亭」の丸太階段は、その種類も含めて検討した方が良い。 ・「三字壇」はオリジナルのものが残っている可能性もあり、当初の姿を資料で確認されたい。 ・土系舗装の色彩は、なるべく現状や当初に近いものが良い。 【管理棟基本計画の内容確認と課題】 ・鑽仰軒が隣接するため、発掘調査を着実に行って欲しい。 【常識門の修復実施設計について】 ・複数にわたり改修が行われているので、資料調査を行い、工事履歴を整理すべき。 ・保管されている聯がオリジナルかどうかの確認が必要。 ・西側控柱と礎石とのずれについて検証が必要。 ・本柱の根巻きコンクリートの変遷について確認が必要。 ・東側の建仁寺垣の振れが、昭和63年の図面から変わっている点について確認、整理が必要。 ・不可解な点が多いので、試掘調査を実施すべき。 【石積（独断峡・心理崖・造化爛）の診断調査について】 ・文化庁の石垣耐震診断指針（案）を基に調査を行うとのことだが、裏込めコンクリートを有する擁壁ということは無いのか。内部構造を確認のうえ、適切な方法を検討されたい。